

# エ | ネ | が | お 3

～エネルギーをつなぐ現場の素顔～

五感を働かせて判断できる  
運転員を育てるための  
コミュニケーションを心掛けています。



山梨 徹  
浜岡原子力発電所  
発電部 運転管理課

浜岡原子力発電所の発電部で、運転指導員として、若手運転員の育成に努めています。

運転員の業務は、運転操作はもちろんのこと、発電設備の巡視や定期検査の対応、緊急事態を想定した訓練など、多岐にわたります。若手運転員の教育は、原子力発電所の将来を担う人材を育てる責任ある仕事です。

入社以来16年携わってきた運転員としての経験を活かし、知識・技能の向上とともに、脈々と受け継いできた使命感も伝えられるよう心掛けています。



3・4号機 運転訓練シミュレータ室

運転員は、五感を働かせて巡視や監視することにより、万が一の不具合を早期に発見することができます。発電設備の音や匂いを感じると同時に、過去の不具合を知識として身につけることで、「他の機械でも同じ不具合が起こりえる」と想像力を働かせながら、巡視するよう心掛けてきました。



## 浜岡原子力発電所のエネがお

name department entering company  
山梨 徹 浜岡原子力発電所 発電部 運転管理課 総括グループ 1998年(入社20年)

work  
静岡の工業高校(機械科)を卒業して中部電力に入社して以来、浜岡原子力発電所の発電部で、運転員として16年、定期検査にともなう業務に4年携わってきました。2018年8月からは、これまでの運転員のキャリアを活かして、若手の運転員を育成しています。

## 01

長年運転員として身につけた  
スキル・ノウハウを後輩に伝授

運転員は、一人前になるまでに約4年間の教育期間が必要で、経験や熟練度に応じた教育が計画的に行われます。入社4年以内の若手運転員約60名を、私を含めた5人で教育しています。

山梨さんは、いろんなことを遠慮せずに質問できる  
接しやすい兄貴肌先輩です。  
設備の説明などは、  
事例を交えながらの指導で、  
とても記憶に残りやすいです。



浜岡原子力発電所 発電部  
藤崎 雄大(入社1年目)



指導の際は、「わかったか?」というYES・NOで答えられる問いかけはしないよう心掛けています。会話のキャッチボールをしながら、自分の口で説明させることで本当の理解を促します。

## 02

若手を育てながら  
自分自身も成長できる仕事

右も左もわからない新入社員と一緒に現場に行き指導することも多く、どんな質問にも答えられるよう、準備は万全にしています。事前に自分自身が改めて設備や機器のことを学び直すことは、自分の成長にもつながります。



## 03

ファミリーという気持ちで  
一体感のあるチームづくりを目指す

運転員になってすぐの頃、当時の副長に言われた「運転員はファミリーだ」という言葉が印象的で、今もその気持ちで仕事に向かっています。指令課長・副長が、お父さん・お母さん、上席者がお兄ちゃんという気持ちでいることで、ただの同僚よりも深い信頼で支え合うことができ、一体感のある行動につながります。

後輩たちが、  
それまで分からなかったことが  
分かるようになっていたり、  
実力が上がっていくのを見るのは嬉しいですし、  
この仕事のやりがいですね



## のぞき見リフレッシュ

今年、御前崎市に住居を移しました。  
地域の秋祭りにも参加しています。



旧清水市の出身ですが、今年の夏に御前崎市に引っ越しました。今年から地域の集まりや祭りの準備に、市民の一人として参加しています。秋祭りでは地区ごとに山車を引いて練り歩きました。

**MY TOOLS**

**タブレット**

現場でいつもと違う状況を見つけた時に、タブレットで写真を撮影します。撮影した写真は現場から中央制御室に送ることができ、運転員にとって大切な「迅速な情報の共有」を行うことができます。

**グリスガン**

巡視でモーターなどの回転機に異音などを発見した際の対処方法の一つとしてグリス(潤滑油)を注入します。

**運転操作手順書**

原子炉系、タービン系など、設備の系統ごとに分類された手順書。後輩への指導も手順書を用いています。500ページにも及ぶ手順書は、全部で8冊あります。